

事業コード・事務事業名		1900①	広報活動費(広報あさひ)(各情報誌の作成)	予算科目	会計	款	項	目	掲載計画等	☒ 総合戦略	
					一般	2	1	3		☐ 国土強靱化地域計画	
施策体系	基本施策	24	広報・広聴・情報公開の充実	所管課	秘書広報課					☒ 新市建設計画	
	施策の展開	50	広報広聴活動の推進	担当班	広報広聴班					☐ 定住自立圏共生ビジョン	
	戦略事業名	215	広報あさひ発行	開始年度	不詳					☐ 過疎地域持続的発展計画	
				根拠法令	旭市広報発行規則					☐ R5主要事業	

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)					
【広報あさひ発行】 ●毎月2回(1日、15日)発行し、市政に関するお知らせやイベント情報、まちの話題などを市民に提供する事務。公民館だよりを年5回折り込む。 【各情報誌の作成】 ●旭市市勢要覧…市の情勢を掲載し、旭市を広くPRする。(5年に1回作成。最新版は令和4・5年度2か年の業務委託事業で作成) ●旭市ガイドマップ…市内の道路や公共施設、避難場所、観光スポットなどを紹介し、市外からの転入者や来訪者に配布する。(5年に1回作成。最新版は令和2年度作成) ●旭市くらしの便利帳…行政情報や市民生活に役立つ情報を掲載する。(3年に1回作成。最新版は令和2年度に官民連携事業で作成)					
② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)			③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)		
【広報】市政情報などを市民に周知するために開始し毎月2回発行。 【市勢要覧】市内外に、旭市の人口・産業・経済・施設など各分野の情勢を紹介しPRする。 【ガイドマップ】市内の道路や公共施設、避難場所、観光スポットなどを紹介し、旭市を広くPRする。 【くらしの便利帳】市民に配布し、市民生活に役立つ行政情報などを提供する。			・インターネットやスマートフォンなどの普及により、新聞購読者が減少している。 ・読者のニーズに合わせて、全国的に自治体広報の構成が、読ませる紙面から見せる紙面が変わってきた。 ・観光パンフレット、防災マップなど、地図を使った類似する刊行物が増えた。 ・広報は新聞を取っていない人からの郵送希望が増加している。設置箇所を増やしてほしいとの意見もあった。		
④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)					
事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
広報あさひ・市勢要覧・旭市ガイドマップ・旭市くらしの便利帳の作成・発行	市民に広報あさひ・市勢要覧・旭市ガイドマップ・旭市くらしの便利帳を提供する	市民及び市外の人が旭市のことを知る。理解する。	広報広聴活動の推進	広報・広聴・情報公開の充実	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R5の主な活動や実績

【広報あさひ・市勢要覧・旭市ガイドマップ・旭市くらしの便利帳の作成・発行】
・広報あさひを24回発行
・旭市勢要覧2024版の作成(23,000部)
・くらしの便利帳2024版の作成(28,800部)

② 活動指標

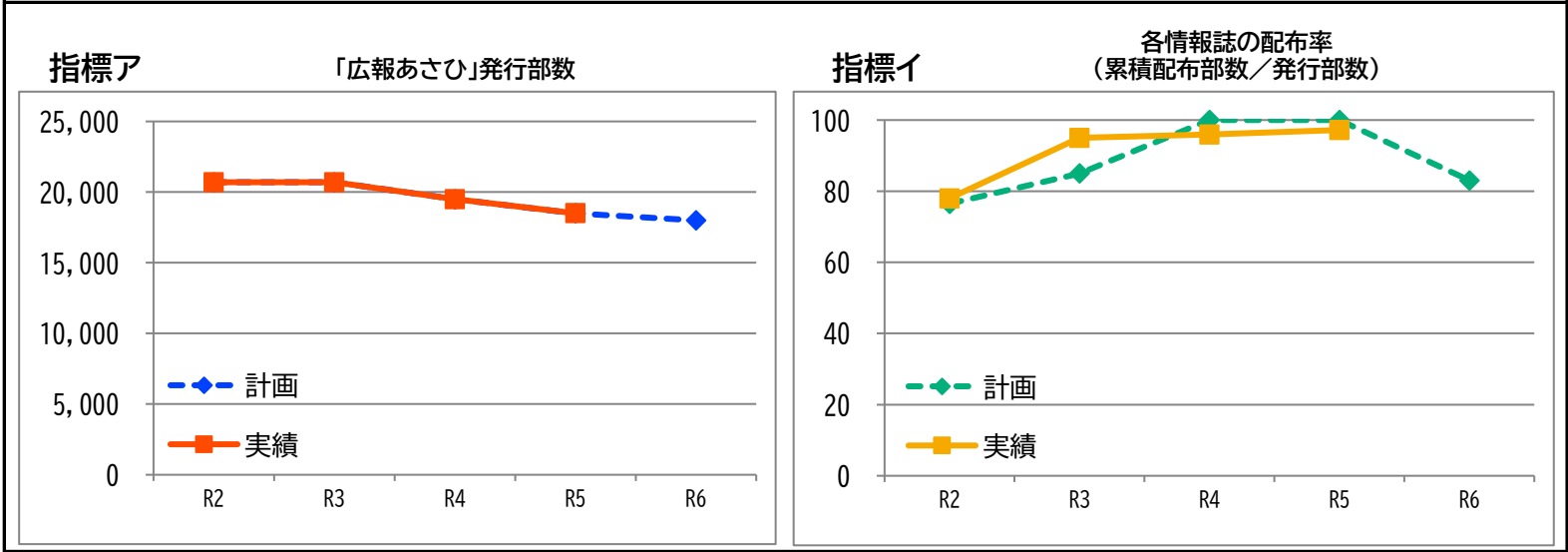
		単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	「広報あさひ」発行回数	回	計画	24	24	24	24	24
			実績	24	24	24	24	
イ	各情報誌の発行部数 （「旭市市勢要覧」「旭市ガイドマップ」「旭市くらしの便利帳」の合計）	部	計画	15,000	0	0	0	51,800
			実績	15,000	0	0	0	

↓

③ 成果指標

	方向性	単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	↓ 減らす	部	計画	20,700	20,700	19,500	18,500	18,000
			実績	20,700	20,700	19,500	18,500	
イ	↑ 増やす	%	計画	76.5	85.0	100.0	100.0	83.0
			実績	78.0	95.0	95.9	97.2	

④成果指標の動向



(3)コストの状況

(単位:千円)

① 事務事業費		R2決算	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算
費目内訳	1. 印刷製本費	10,987	11,049	11,501	12,479	13,484
	2. 手数料	5,468	5,444	5,317	4,786	5,201
	3. 委託料	3,990	2,986	3,259	5,414	0
	4. 通信運搬費			2,006	2,047	2,464
	5. その他	368	167	249	78	355
財源内訳	合計	20,813	19,646	22,332	24,804	21,504
	国・県支出金	41	78	36	41	41
	地方債					
	その他					
	一般財源	20,772	19,568	22,296	24,763	21,463
一般財源の比率		99.8%	99.6%	99.8%	99.8%	99.8%

② 従事職員数

常時 3 人

最大 人 × 日 = 延べ 人

③ 各費目の詳細(R5決算)

1.印刷製本費	広報印刷製本費等
2.手数料	新聞折込手数料
3.委託料	市勢要覧作成委託料
4.通信運搬費	広報紙郵送料
5.その他	消耗品等
④ 特定財源の詳細(R5決算)	
国・県支出金	自衛官募集事務委託金
地方債	
その他	

⑤ R4→R5 増減理由

旭市市勢要覧2024年度版の作成に係る契約（2か年の業務委託事業）をしたため。

(4)事務事業に関する評価

① 事務事業の進捗	判定		分析(好不調の要因や対策について)	
			人口の減少や活字離れによる新聞購読者等の減少といった状況を鑑み、広報紙配布後の在庫状況を踏まえて、過不足のない印刷部数の削減を実施している。 毎年実施している広報アンケートでは、市の情報を受け取る方法について広報によるものという回答が最も多い状況ではあるが、近隣の自治体では、月1回の広報紙発行が主流となっているため、市民全体へ効率的に情報を発信する方法の研究を続け、印刷部数の見直しとともに発行回数の見直しについて検討を進める。	
	順調			
② 成果指標の推移 (R4→R5)	指標ア	判定	分析(変動の要因や対策について)	
			広報アンケートでは、市の情報を受け取る方法について広報によるものが最も多い状況ではあるが、近隣の自治体では月1回の広報紙発行が主流となっているため、SNSによる効果的な情報発信を拡大し、市民全体への、より効率的な情報を発信を研究し、印刷部数の見直しとともに発行回数の見直しについて検討を進める。	
	好調維持			
	指標イ	判定	分析(変動の要因や対策について)	
		「市勢要覧」は令和6年3月に完成し、「くらしの便利帳」は令和6年5月に完成予定で、両冊子とも市民へは令和6年度に配布予定。 以前に作成された情報誌については、順調に配布されている。		
好調維持				
③ 今後の方向性 (①・②を踏まえた R6以降の方針)	判定		方針	判定・方針の詳細
	継続実施			見せる広報の作成をするため、表紙以外でも市民の活動やイベントなどの撮影や、取材時のインタビューによる市民の声を紙面へ反映させ、目を引く内容の特集記事を作成するなど、身近な出来事を掲載し、広い世代に読んでもらえる紙面づくりを継続する。 「市勢要覧」や「くらしの便利帳」についても、写真を多く掲載し、目を引く構成にするとともに、読みやすく分かりやすい刊行物を作成する。

事業コード・事務事業名		1900②	広報活動費(市長への手紙)	予算科目	会計	款	項	目	掲載計画等	☒ 総合戦略	
					一般	2	1	3		☐ 国土強靱化地域計画	
施策体系	基本施策	24	広報・広聴・情報公開の充実	所管課	秘書広報課					☒ 新市建設計画	
	施策の展開	50	広報広聴活動の推進	担当班	広報広聴班					☐ 定住自立圏共生ビジョン	
	戦略事業名	218	市長への手紙制度	開始年度	不詳					☐ 過疎地域持続的発展計画	
				根拠法令	旭市広報発行規則					☐ R5主要事業	

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)					
事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
市長への手紙制度の運用(意見等の受付、回答、情報共有)	⇒ 手紙やメールなど様々な方法により、市民が市政に関する意見、要望等をできる仕組みを提供する。	⇒ 市民の意見等を反映した市政運営やまちづくりが推進される。	⇒ 広報広聴活動の推進	⇒ 広報・広聴・情報公開の充実	⇒ ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R5の主な活動や実績

【市長への手紙制度の運用(意見等の受付、回答、情報共有)】

・受け付けた手紙を確認し、回答が必要なものについて適切に処理した。

・手紙の内容や回答を広聴案件データベースに記載し、庁内で情報共有したほか、ホームページ上で概要を公表した。

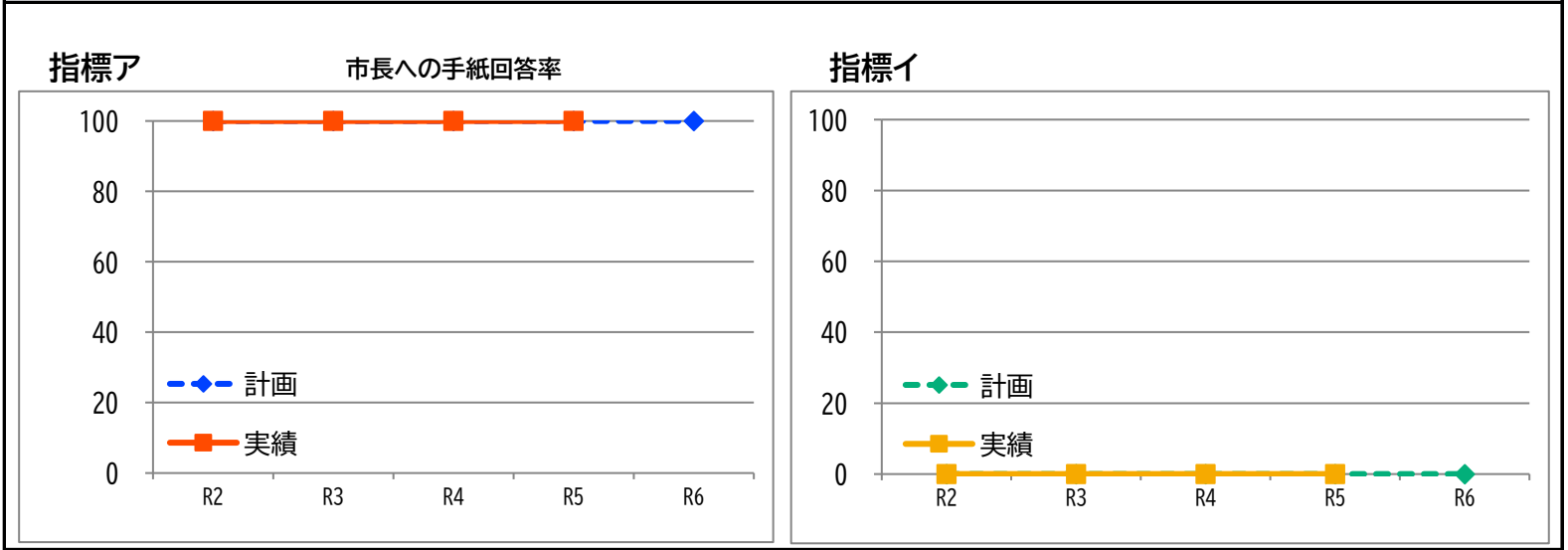
② 活動指標

	単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	件	計画	25	30	35	25	25
		実績	32	39	27	10	
イ		計画					
		実績					

③ 成果指標

	方向性	単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	増やす	%	計画	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績	100.0	100.0	100.0	100.0	
イ			計画					
			実績					

④成果指標の動向



(3)コストの状況 (単位:千円)

① 事務事業費		R2決算	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算
費目内訳						
財源内訳	合計	0	0	0	0	0
	国・県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	0	0	0	0	0
一般財源の比率						

② 従事職員数

常時

2

人

最大

人

×

日

=

延べ

人

③ 各費目の詳細(R5決算)	
④ 特定財源の詳細(R5決算)	
国・県支出金	
地方債	
その他	

⑤ R4→R5 増減理由

(4)事務事業に関する評価

① 事務事業の進捗	判定		分析(好不調の要因や対策について)	
			手紙・メール・ファクスなど様々な方法で届いた「市長への手紙」の内容を確認し、関係部署と調整しながら適正に対応している。また、広聴案件データベースに記載し庁内での情報共有を図ることで、対応状況の把握や同様の意見・要望等があった場合の参考としている。	
② 成果指標の推移(R4→R5)	指標ア	判定	分析(変動の要因や対策について)	
			受け付けた「市長への手紙」について、回答を必要とするもの全てに回答している。また、回答を必要としないものについても関係部署に情報提供を行っている。また、手紙を確認し、個人的な内容で担当課からの回答ですぐに解決できるものは、担当課への問い合わせとして扱い、迅速な処理に努めている。	
	指標イ	判定	分析(変動の要因や対策について)	
③ 今後の方向性(①・②を踏まえたR6以降の方針)	判定		方針	判定・方針の詳細
	継続実施			市民の声を広く聴き、まちづくりに生かしていくための取り組みの一つとして、引き続き継続していく。

事業コード・事務事業名		1900③	広報活動費(ホームページやSNS等を活用した情報発信)	予算科目	会計	款	項	目	掲載計画等	☒ 総合戦略	
					一般	2	1	7		☐ 国土強靱化地域計画	
施策体系	基本施策	24	広報・広聴・情報公開の充実	所管課	秘書広報課					☒ 新市建設計画	
	施策の展開	50	広報広聴活動の推進	担当班	広報広聴班					☐ 定住自立圏共生ビジョン	
	戦略事業名	217	ホームページやSNS等を活用した情報発信	開始年度	平成17年度					☐ 過疎地域持続的発展計画	
				根拠法令	特になし					☐ R5主要事業	

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)					
【ホームページ、SNS、デジタルサイネージなどを活用した情報発信】 ・コンテンツマネジメントシステム(以下CMSという)により、担当課などが発信したい情報のアクセシビリティチェックと承認 ・CMSによる各ページの作成・編集・削除などの操作支援 ・ホームページの内容についての総括 ・CMSで作成できないページ(くらしの便利帳など)の作成・編集 ・社会情勢や市民ニーズの変化に対応した広報活動を行うため、各種SNSを活用した情報発信					
② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)			③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)		
各種支援情報や、災害など急を要する情報などの市政情報をタイムリーに発信する。 地域に密着した情報や、観光イベント情報、市内の景観などを、市民や旭市に関わりのある人、旭市を知らない人などに向けて発信し、旭市の知名度向上を図る。			スマートフォンなどの普及により、広報紙以外で市の情報を知るためのツールが、パソコンからスマートフォンやタブレットPCなどへ変化しているため、広報紙を読まない人でも、市から発信するさまざまな情報を、市民の需要に合わせて手軽に入手できるように、特性の異なる媒体を有効に活用し、広報活動の効果を高める必要がある。		
④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)					
事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
ホームページやSNS等を利用した情報発信	⇒ 市民及び市外の人に情報を提供する	⇒ 旭市のことを知る。理解する。	⇒ 広報広聴活動の推進	⇒ 広報・広聴・情報公開の充実	⇒ ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R5の主な活動や実績

【ホームページやSNS等を利用した情報発信】
・ホームページの管理・運営
・LINE、Instagram、Facebook、X(旧Twitter)による情報発信
・デジタルサイネージの管理・運営

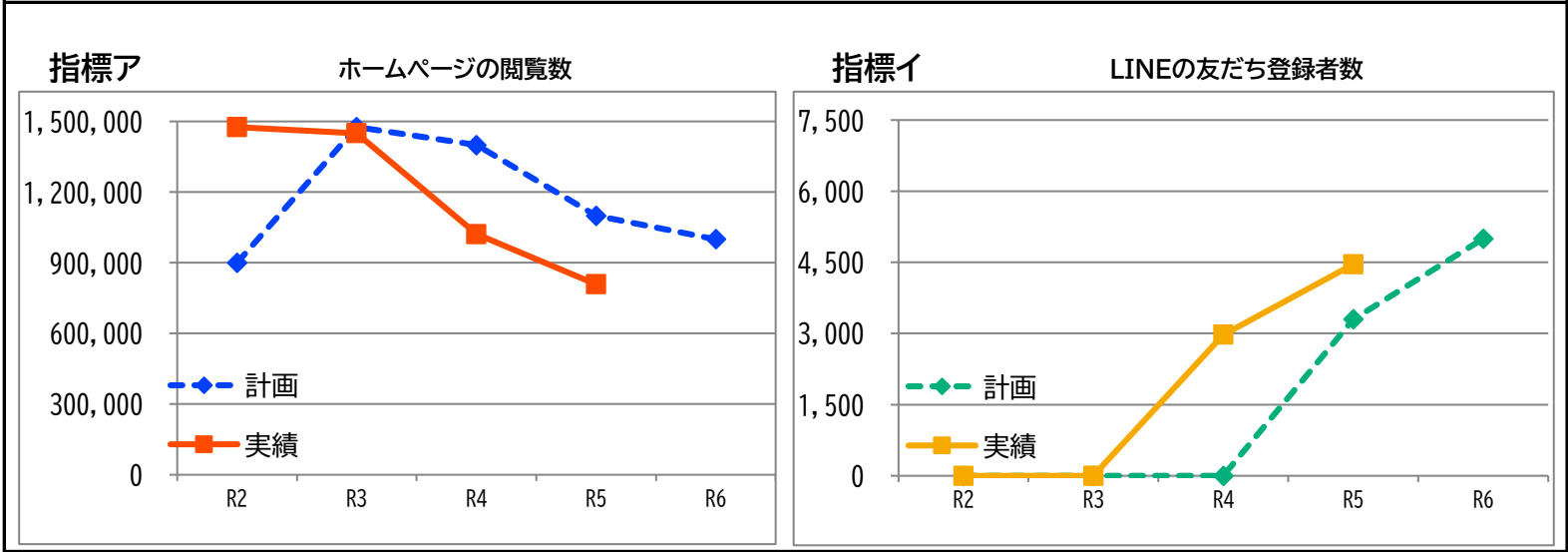
② 活動指標

		単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	ホームページ作成・修正数	ページ	計画	660	850	1,000	1,000	1,000
			実績	844	1,201	1,962	1,403	
イ	LINEのセグメント配信数	ページ	計画				200	330
			実績			86	297	

③ 成果指標

	方向性	単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	↑ 増やす	件	計画	900,000	1,476,000	1,400,000	1,100,000	1,000,000
			実績	1,475,683	1,450,173	1,021,046	808,492	
イ	↑ 増やす	件	計画				3,300	5,000
			実績			2,975	4,459	

④成果指標の動向



(3)コストの状況

(単位:千円)

① 事務事業費		R2決算	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算
費目内訳	1. 委託料	12,012	1,510	3,204	3,028	3,029
	2. 賃借料					
	3. 通信運搬費	108				
	4. 使用料	805				
財源内訳	合計	12,925	1,510	3,204	3,028	3,029
	国・県支出金			616		
	地方債					
	その他					
	一般財源	12,925	1,510	2,588	3,028	3,029
一般財源の比率		100.0%	100.0%	80.8%	100.0%	100.0%

② 従事職員数

常時 3 人

最大 人 × 日 = 延べ 人

③ 各費目の詳細(R5決算)

1.委託料	ウェブサイト運用保守委託料等
2.賃借料	
3.通信運搬費	
4.使用料	
④ 特定財源の詳細(R5決算)	
国・県支出金	
地方債	
その他	

⑤ R4→R5 増減理由

微減のみ

(4)事務事業に関する評価

① 事務事業の進捗	判定		分析(好不調の要因や対策について)	
	 概ね順調		ホームページやFacebook、Instagram、LINEなど、それぞれの情報発信ツールの役割に応じた情報を発信するとともに、各部署への情報提供依頼を行った。 LINEの登録者を増やすために、広報紙への掲載やチラシの配布などでの周知を図った。 それぞれの情報発信ツールが持つ特性を生かした情報発信に加え、ツール間の連携(クロスメディア)を進め、効果的な広報活動を展開した。	
② 成果指標の推移(R4→R5)	指標A	判定	分析(変動の要因や対策について)	
		 好調維持	閲覧数の低下は、公式LINEからの情報発信により、トップページを経由せずに直接該当ページにアクセスする人が増えたことが要因と考えられる。 各部署にホームページを活用した情報発信を積極的に行うことや、分かりやすい記事作成と探しやすい構成にするために、情報の整理を行うように掲示板での呼びかけや、職員向けのシステム操作研修の実施などにより随時改善していく。	
	指標イ	判定	分析(変動の要因や対策について)	
		 好調維持	LINEを主要な情報発信ツールとして重視し、友だち登録者を増やすための周知を行っていくとともに、各部署へLINEを活用した情報発信を積極的に行うよう、掲示板などを通じて呼びかける。	
③ 今後の方向性(①・②を踏まえたR6以降の方針)	判定		方針	判定・方針の詳細
	継続実施			ホームページは、広報紙と並ぶ主要な情報発信ツールであることから、多岐に渡る行政情報を探しやすく構成することが重要であるため、今後も情報の整理を随時行うとともに、定期的な研修を通じて分かりやすい記事を作成する意識づくりの浸透に努める。 SNSについてはさまざまな種類があり、世代によって利用するSNSにばらつきがあることから、常に動向を注視し各ツールの特性を生かして効果的な情報発信をするとともに、アカウントの乱立を避け、利用率の低いSNSを放置しないよう研究を進める。